夕刊
八月八日發行
定價一ケ月金六拾錢（郵税拾五錢）
廣告　一段　金五拾錢　二段　金一圓
（日曜祭日翌日休刊）
發行所　磐城新聞社
福島縣磐城郡平町大字平字本町十六番地
電話五六四番

漫筆餘瀝

小野生

公務蝟集し私務堆積の中れは餘義ない事で、つまり飄然として行李を整へ汽車は客本位に考ふる事が驛長旅行の途に上る事は、三十年來の經驗に徴してこれよりも以上の慰安は嘗て味つた事はない、旅行は一種の娯樂として見る時は、其所に當然と心得る傾向がある。慰安もあらう、享樂もあるであらう、こうした意味から何時も疲勞した俗塵を避けて旅行に身を委ぬる事が唯一の忘苦法として繰り返して來た。

そして昇降共にステーションに厄介になるのであるが、そのステーションが、又慰安休息の種となるものである、殊に昇降客の多い驛での便所は常に之を清潔に督勵すると云ふても出入の多きだけに粗匆が多い事が常である、もしも清潔に行き屆いて居ないとすれば折角の娯樂としての汽車旅行は、急轉して厭な氣分を醸成した旅行となる。

これが永年の經驗によつて最も深く又早く感ずる術動である。然るに茲に特筆せねばならぬ一事を發見した、それは泉驛の便所の實に行き屆いた掃除のなし方である、雨の日、風の日、何れを問はず毎朝六時前に必らず洒灑したその掃除振りは、一律一体で何と氣持ちのよい事であらう。

泉驛長の部下の批判は、實に受けが悪い。一から十まで干渉主義で部下をば餘りに機械的に寧ろ酷使するとの噂も聞かぬでもないが然しそれが使はれて居るものから見た、俗目で本來の萩原泉驛長は、實踐躬行の强者らしい點が体質的に表示されてる所から見て部下の悪口も起るであらうがそれは必ず何處かで人に救ひ取られ、大事露見に及ぶに極まつてゐる、我々の苦心甲斐もないと內々大鹽を怨んだ。

大鹽は平氣ですた〳〵と歩き出した。二人は是非もさうして横手をポンと打つなく其の跡に續いた河岸をてにつたりと笑つた、憐な眞直に道頓堀川の日吉橋のる鴉天狗は、火藥の試驗用方へ曲らうといふ時、二人に供せられた、凡てを陸揚は何となく氣に懸るので頻げした後に只一匹殘つてゐりに後を振り返つたのが、生きながら彼を葬ドン……忽然としてはむる茶毘になつたのである

×

三好屋では俄かに娘の嫁入仕度を仕始めた、呉服屋お吉といふ娘を現代式に想像して見る——虎の門邊りの學校出と佛語が少し出來るのが自慢の、ダンスとテニスが大好き、ハイカラ頭をわざと縮れ氣味にして近視でもないのに痛さを堪えて鼻眼鏡をかけ、常におしやれの標準を帝劇の女優にとつて三越や白牡丹の番頭からふりかけられる月並のお世辭がダイヤ一粒、血の出るやうな親の涙の結晶したお高い物とは知らず天晴名譽のことに心得て、芝居とバザーに飾る綺羅物に色艶が、其のまゝ婦人雜誌の寫眞版に映らざるを怨み日本はまだファイン、アートが幼稚だね、えと、自動車の上で氣焔を吐く——先づそんな柄であつた。

諸判定應需
東京市本郷區湯島四丁目五番地
高島易斷總本部　神誠館
舊七月九日　火曜
八月九日　友引　破　室宿

社會の今日

○

通る人に茶店の世辭や蟬涼し　九品太

たちさけばさと匂ひたり部屋のうち靜けき晝の西瓜なりけり　若山牧水

磐城歌壇

東京　雪谷　笹丸

島田忠夫氏の讃なみて

○落ちつける里の憩かも野を前に家圍ひの杜の高く茂りて

○いんざんに兒の戯するは師の君なら人田舍道行く洋服の人

○帽子ぬぎ敬れいしつる憩なみで十歳の昔を吾なつかしむ

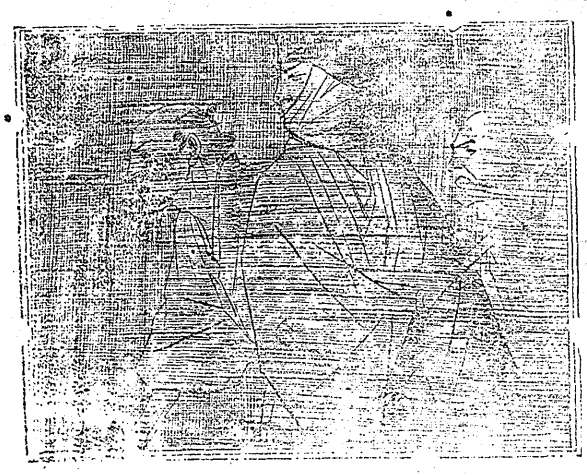
○どこまでも敬愛の道かくあらば左傾右傾は悪あらめやも

○曲り路を過ぎて行手の杜の裡ぞこの人たちの行方なるらむ

講談　お蘭陀お蝶

(101)　渡邊默禪作　布施長春畫

大鹽は此の男を如何處分だ〳〵』



『あれ〳〵父さん、船火事

『いんや火事にしては今の提灯の燈りで懷中紙に其音が訝せえぞ、はて何だべ』

二人は怪んでぴたり立停かせて拇印を取つてから再び船の中に體を括りつけ手拭で猿轡をはめさせて其の盧木津川を下り、難波島の西側町といふ川岸へ漕ぎよせた

『ハ、ハ、、、』

大鹽は身を搖つて呵呵と笑つた

『二人の骨折、たしかに見屆けた、ても激しい强藥の力——ウム、よい幸先ぢやのう』

眼は輝き眉は昂る

『さるほどに山河を動かす兵九郎は言ふまでもなく一刀兩斷其の場で成敗されて萬木青山動搖せり、いかに鬼神もたしかに聞け』

張りのある吟聲に得意の謠、袖をはらつて悠々と歩き出す

『ムン、夫れッ！』

『や、然うけえ』

父子は同時に叫びだした

詩南社の詩（2）其の他

美澤光夫

だが讀書を禁止されてゐた、人間が最初に讀むんだつたら兎も角現代の如き書籍亂發時代には讀んで居られそうもないのが多い樣で得ない事であらう。

山　二篇　丹野草笛

この作者が、二十六輯號に『かいらい』と題した『詩ではないと云ふのではないからやめて置く、然しで發表したのであるが、今度のと比較して見る時こそ今度のは餘りに退歩して居るとの悪口を起す、てもこれは編輯局で次回押し流した

傳七親子は大鹽の處置が餘り寛大過ぎるのを怪んだ

二の項　双葉　情

この詩を綜合して考へて見る時、賣春婦の姿が思ひ出で來る、この賣春婦は病氣の爲に再び歸らないと思だ譯もなく、涙を流したり山の中に入る事が山に對する冒瀆だ、と考へたりするものが有るだらうか、有つたとすれば恐らく狂人であるの、その爲に今まで部落的に、家庭的に、平和と團欒そのものであつた家庭は、一轉して近所の若いや、子供は一人も來なつた。そして廢家同樣になつてしまつたと云ふの來のブルジョアー既成詩壇であつた。その上あれ程熾烈にこうした經濟觀念を沒却した詩が澤山ある。生活の中から生れ出で來る限りに於て、こうした詩は生れる、是では必ず何處かで人及ぶに極まつてゐる、我々の苦心甲斐もないと內々大鹽を怨んだ。

大鹽は平氣ですた〳〵と歩き出した。二人は是非もさうして横手をポンと打つなく其の跡に續いた河岸をてにつたりと笑つた、憐な眞直に道頓堀川の日吉橋のる鴉天狗は、火藥の試驗用方へ曲らうといふ時、二人に供せられた、凡てを陸揚は何となく氣に懸るので頻げした後に只一匹殘つてゐたのが、生きながら彼を葬ドン……忽然としてはむる茶毘になつたのである

×

三好屋では俄かに娘の嫁入仕度を仕始めた、呉服屋お吉といふ娘を現代式に想像して見る——虎の門邊りの學校出と佛語が少し出來るのが自慢の、ダンスとテニスが大好き、ハイカラ頭をわざと縮れ氣味にして近視でもないのに痛さを堪えて鼻眼鏡をかけ、常におしやれの標準を帝劇の女優にとつて三越や白牡丹の番頭からふりかけられる月並のお世辭がダイヤ一粒、血の出るやうな親の涙の結晶したお高い物とは知らず天晴名譽のことに心得て、芝居とバザーに飾る綺羅物に色艶が、其のまゝ婦人雜誌の寫眞版に映らざるを怨み日本はまだファイン、アートが幼稚だね、えと、自動車の上で氣焔を吐く——先づそんな柄であつた。

奉天から

暑中御見舞申上候、陣中とは申し乍ら御無沙汰のみ仕り失禮の段平に御許し下され度候、其後貴社御一同樣にも如何御暮し遊ばされ候哉御伺ひ申上候、小生も皆々樣の御援助によりまして恙なく勤務に服し居り候、今後も益々御後援下されん事を伏して御願ひ申上候、先は暑中御見舞迄申上候。
敬具　奉天駐剳木村石三
（好間村出身）

ラヂオ
……九日…（火曜）…
仙臺　JOHK

△前六、〇〇A ラヂオ體操
△九、〇〇A 氣象
△九、一〇 料理献立（南瓜のつくね煮）河內捨松
日用品値段
△一〇、三〇A 婦人講座（世界に稀な日本の水上ペーヂェント）早稻田大學教授日高只一
△正午 A 時報
△〇、〇〇A オリムピック大會狀況（米國NBCロサンゼルス放送局より中繼）
△一、〇〇A ニュース 氣象
△二、五〇 六、〇〇A 運動競技（東日、大毎主催 第六回全國都市對抗野球大會狀況）
△三、四〇A 氣象
△四、〇〇A ニュース
△六、〇〇A（子供の時間）少年運動講座（水泳の手ほどき）京田武男
△六、二〇A コドモの新聞 關屋五十二
△六、二五A カレント、トピックス ニュートン、エドガース
△六、三〇C 夏期英語講座 河合逸治
△七、〇〇A ニュース 氣象 生繭相場
△七、三〇A 講演（日本に使して國民大衆諸君に告ぐ）滿洲國總務長官駒井德三
△八、〇〇B 浪花節（怪男子甲斐勇吉）京山香風
△八、五〇A 歌澤（一、初秋 二、淀）歌澤芝金
△九、〇〇A 連續漫談（珍釋西遊記—猪八戒の第二報告）山野一郎
△九、三〇A 時報
△九、三一A 滿洲より（北滿に於ける邦人狀況…北滿事情週聞の內）
ニュース 氣象 生繭相場

篤質淳行清居士葬送の際は御配慮を忝し奉深謝候本年は舊宇蘭盆に相當り候處時節柄と生前の遺志を尊重し甚だ勝手ケ間敷候へ共提灯其他の御供物等一切御辭退申上候。先は御通知迄如斯御座候
昭和七年八月三日
平町一丁目
關原新一郎

亡父龜太郎新盆に相當り候も神葬の爲め新盆相營はず候間乍勝手贈物等御辭退申上候
平町五丁目
佐々木榮一

御贈答用品の御用命は
中野洋品店
平二〔電53番〕
●（ボイル、麻、絹、縮）シャツ、ジバン類 ●ワイシャツとネクタイ、靴下類 ●敷布、タオル、ハンカチーフ ●お寢着各種 ●袋物ハンドバック（ボイル、レース）御袖とスカート
●有名石鹼と化粧品詰合 ●たばこ各種 ■商品券、その他お体裁よく見斗ひ致します。

舊盆も差迫りました。例年通り佛壇、位牌、佛具類其他各種澤山取揃へ申し置きました。御入用の品は特別廉價にて販賣致します。是非御用命の程を御願致します。
平町二丁目　平區民金庫東隣り
桝屋タンス店
鈴木民治
電話一三一番

賢德院新盆に相當候も贈物等一切堅く御辭退申上候
平町二丁目
長瀨齊一

季節御料理
柳川　一人前　金二十五錢ヨリ
うな井　金三十五錢
蒲燒　金五十錢
右大々勉强出前迅速
大蒲燒料理
鳥齋折詰司理燒
仕出し部
田町　魚榮
電話四二四番

川魚御料理
大蒲燒（一人前）四十錢
うなぎ井　二十五錢
どぜう蒲燒（一人前）三十錢
柳川　二十五錢
十五錢
ヒラキうなぎ　百匁　二十五錢より
ヒラキどぜう　百匁　二十錢より
配達迅速
相馬屋
四丁目川岸通り（電話二六一番）

潰金銀、古時計、鎖、古金、外國金貨
高價買入
今が賣り時期御一報次第出張御相談仕ります。
東京㊥商會出張所
平驛前通り
星野時計店方
（呼出）電話五九九

提灯　御新佛御供養の
御法名入提灯の大奉仕
瓜形　一對房付　金一圓五十錢より
角形同　金一圓九十錢より
其他岐阜提灯種々取揃へてあります
是非御下命は電話九五番
平四丁目
スガノヤ提灯店

月曜論壇

鑛産税委讓實現

極度に逼迫せる地方財政緩和の意味から、長い間その實現を翹望された鑛産税の半額委讓は、曩に議員提出法律案として兩院を通過し、殘された問題としては單に實施期日の點のみであつたが町村財政の窮迫が今や到底看過出來ぬ實情に在る事を察知した内務省では商工大藏兩關係當局と協議の結果緊急手段として多年の懸案を直に『今年度より實施する事』に決定し近く右單行勅令を閣議に諮議した上早急に實現する事になつた。由來郡下の鑛産税は之を昨年度の調定額に徴するに總額十萬圓を突破して居るので半額の五萬圓を委讓さるる炭鑛關係町村にとつては最も有力なる恒久的の新財源で而も之れが利用に就ては別に制限を設けず町村民の負擔を輕減する爲に減税の資に充當するも、將た農村救濟、失業救濟事業等の積極的事業の財源に充てるも勝手であると云ふに至つては先年來現在の經濟狀態が反映して鑛産税附加税の著しく減少した町村が因て以て被る恩恵は蓋し絶大なるものあるは更めて贅々する迄も無く極めて明白なる事實であつて、之れが實現するもその恩恵稀薄なる小炭鑛所在地は姑らく論外とするも該税が五萬に亜々とする磐炭の内郷及び二萬を遙かに突破する入山の湯本等が向來該新財源の經理に就て其の宜しきに適するなれば自町村將來の發展充實上齎す處如何に大なるものあるかは漫ろに想像するに難からぬものあるが一朝誤つて放漫に之を費すが如き事あらば折角積年の運動によつて贏ち得たる町村委讓の成果は極めて意義の淺いものになつて終ふわけである、要之。鑛産税委讓は今や從來の假設から實在に進んだ以上、他の方面に於ては望んで得られぬ特殊的の恩恵なる事に深く思ひを潛め、今後如何にして最も有効有意義に之を使用すべきかに就て須く深甚の考慮を拂はねばなるまいと信ずる

無煙關係四十名が上京
臨時議會を前に猛運動
深刻化した運賃値下問題

山田村吉村、勿來町大日本、山木、川部村五十石等郡南方部の無煙關係各炭鑛では現在の不況打開策は鐵道運賃値下げの外途無く若し主務當局にして飽く迄も値下げを斷行せざるに於ては枕を並べて自滅するの外無いと云ふ悲壯な覺悟を以て茨城縣の無煙諸炭鑛と合流し鐵道運賃値下げ同盟會を組織し目下陳情方針其の他に就き研究を重ねてゐる、即ち現在の炭鑛は塊炭一噸四圓五十錢乃至五圓五十錢、粉炭一圓二十錢乃至二圓の安價なるに反して運賃は噸當り平均三圓三錢と云ふ高値で前途全く暗澹たるものがあるので愈々之等全無煙關係炭鑛外四十餘名は明後十日上京來るべき臨時議會に提案されるやう主務當局に對し熱心陳情を重ねることになつた

卑劣な逆宣傳に
一層勇氣が出た
長者議員立候補に就て
金成氏衷情を披瀝す

金成氏の長者議員立候補に就ては資格問題に就て種々なる厭がらせが劃策されてゐるが氏は其等の暗躍を眼中に置かず此程左記の挨拶を各方面に發した

謹啓　酷暑之砌貴下初め御一家皆々様益々御健勝の事と奉恐察候、唐突乍ら來九月十日施行の多額納税資格者互選會に際し小生候補者として出馬致す事と相成候爲め御挨拶旁々出馬決意迄の次第を簡略に申上是非貴下の御同情を賜り度略儀乍ら書中を以て御願申上候、先般來より縣下濱三郡を初め各方面の先輩知己友人各位より種々なる事情を具して出馬推挽を受け小生として實に身に餘る光榮にして感激禁じ能はざる處に有之候、然し乍ら小生若輩の砌多少縣參與の榮を得爾來齊々たる多士の驥尾に附し主として事業方面に力を注ぎて今日に到りたるもの而して自己の非才爲すなきを想ふ時幾度か今回の候補者たるを固辭申上たる次第に有之候、更めて度を重ぬる熱心なる御推薦は遂に小生に一大勇猛心を與へ禰つて多難なる國事、多難なる縣政の諸相を想ふ時　自己一身を顧みるの遑なく茲に候補者として出馬を固く固く決意致したる次第に有之候、選擧は時の勢にして一度決意立候補せば最後の榮冠を是れ望みて戰陣に臨み飽く迄善戰致し候事こそ男子の本懷とも存じ先輩知己各位の知遇に酬ゆるの途とも確信致し居り申候、只小生の居郡は南方に僻在し地理的に考察致し候時中原鹿を追ふに甚だ不利の立場に有之廣く縣下有權者並に各位の御同情あるに非ざれば到底勝算相立ち不申候是非共貴下の厚き御同情を賜はり度懇願申上候、四旬の後幸にして當選の榮を得ば駑馬菲才に必死の鞭を事務部長、コーチャア出口與へ拍車を加へ互選資格者範圍擴張の趣意に鑑み途に何事をか爲して御期待に副ふ可き決意に御座候、今日戰陣を進むるに方り只管御同情と御指導を仰ぎて平素多少とも抱懷せる愚見を開陳申上度と存じ候も冗漫に流れ候事を懼れ以上に止め置き申候、小生の互選資格に關し種々なる流言飛び卑劣なる逆宣傳等現はれ居り候模様なれど一切は小生を信じ下され候各位の常識的御判斷に任せ小生としては寧ろ馬を進むるに層一層の勇氣さへ與へられたる次第に有之候、近年稀なる暑熱切に御一同様の御健康を祈り申候

敬具

磐女竟に敗る
昨日の東北庭球大會

磐女庭球は昨七日仙臺青葉莊コートで開催された東北女子庭球大會に出場したが全國女子オーダン大會に決勝迄行つた上澤、松崎組は決勝戰に於て福師羽染、熊谷組の爲三對二で惜敗した

A組
上澤 4—0 松菱
松崎

B組
菅原 4—3 松菱
遠藤

C組
△第二回戰
上澤 4—1 宮
松崎
山形 4—1 菅原
松菱 4—3 長瀬
石川

△決勝
福師 3—2 上澤

D組
如春 4—2 前田
長瀬 4—1 角田
石川

懷ろが膨れて
喜ぶ炭礦地町村
鑛産税半額委讓近く實現

地方の炭鑛關係各町村が長い間シビレを切らした鑛産税半額委讓は今度と云ふ今度こそ愈々本物になるらしいが平税務署に於ける六年度の調定額は（單位圓）

磐炭四七、九八二　入山二、三二八　五十嵐一、八五六　日支一、六一〇
二三、八六二　古河九、植武五七二　山木五〇〇
一七一　小田八、一六六　關西四八五　鳳城四五五
大日本二、四八八　福島　不動澤二一七　古川晟一
八四　朝鮮一三八　川瀬
七一　永山金太郎一六
東日本一三　品川白煉瓦
六　王城三

競泳會延期

山崎定雄（百米自由）菅野一分一六秒一（ダンピング）和田

菅野政一三分七秒九（二百米リレー）磐炭二分二五秒九（各坑二百米リレー）第三斜坑二分二六秒七（百米自由型）菅野茂三四秒（餘興潛水競技）

『滿洲行』
記事輻湊に付休載

一二博士の鉢合せ
―共濟病院長さんダブる―

平町磐城共濟病院では過般たらしむべく元東北帝大醫學部講師東京目白病院長片山謙郎博士と主事賀澤忠治氏との間に些か感情の疎隔を來したるものの、しかるに石山博士の擁護派が現れ、昨七日の理事會に於て石山博士の留任を決議したので、差當り一院二長の成り行きを刮目されてゐる

看護婦を毆る
確執激化の現れ？

平町共濟病院主事賀澤忠治氏次男東京慈恵醫科大學三年生貞雄（二三）は昨七日午後二時頃同病院廊下で些細な事から激昂し院長石山謙郎附看護婦洗崎ミエ（三三）を毆打し右目下に全治二週間の打撲裂傷を負はせ目下平署で取調中である、一院二長騒ぎが祟つたものらしい

プール開きの記念水泳大會
昨七日磐炭の壯擧

こんな御馳走を毎日食べげてくれたと言ふ吉報があつたので祝賀の茶話會を八時から開きました。上川先生の開會の辭について水竹先生のオリンピックの説明、君ヶ代合唱、皆委二時頃同病院廊下で些細な事から激昂し院長石山謙郎附看護婦洗崎ミエ（三三）を毆打し右目下に全治二週間の打撲裂傷を負はせ目下平署で取調中である、一院二長騒ぎが祟つたものらしい

郡女教員〰平第二小學校

遊戯講習〰で今八日午前九時から向ふ三日間開催す

平第一臨海學校通信
（五日）第五信

夜つゆにしめつた中でかすかに虫が鳴いて居ます。

大地にしみこむ様なその音は家を離れた僕等には何となく寂しく聞えます。自由時間も終つて皆夫々樂しい夢路をたどつて居ります潮の遠鳴が物凄く聞えますしいのです。

×

今の所僕等の内には體の悪い人はありません。これは皆先生方の細い注意によりませうが僕達の衛生に對する心掛も立派なためでせう。褒めて下さい、試に今日の献立を書いて見ませうこんな事が書いてありました。『臨海學校の様な所の淺いものになつて終ふわけである、要之。鑛産税委讓は今や從來の假設から實在に進んだ以上、他の方面に於ては望んで得られぬ特殊的の恩恵なる事に深く思ひを潛め、今後如何にして最も有効有意義に之を使用すべきかに就て須く深甚の考慮を拂はねばなるまいと信ずる

朝食　1、シジミ汁（僕等のとつた）鰹節　2、香に來ると便秘をする、それは多食するためであらう。のの物　3、鮪の煮物　1、味噌汁、茄子、鰹節、葱、2、卵　3、香の物　1、煮物ホツキキ　2、味豆、ジャガイモ　3、香の物　噌汁　午前午後各一回。

夕食

×

荒かつたのです、僕等が水泳をしてゐるときに漁夫のどなり聲で急いで上つた程潮の遠鳴が物凄く聞えますしいのです。

×

今日は午後からとても波が荒かつたのです、僕等が水泳をしてゐるときに漁夫のどなり聲で急いで上つた程

×

七時のニュースで我南部選手が碧空高く日章旗をあ！

鬼氣迫る眞夜半
龍門寺で試膽會
今夜第三校兒童の快擧

平第三小學校では今八日午後九時五六年男女有志を學校に集め赤津校長の訓示後童話會、靜坐、レコード鑑賞後閉會するが參加兒童は賞をなし深更十二時飯野村出發龍門寺に於て一時から二時迄試膽會を催し三時歸校砂糖麥湯に渇を癒やしラヂオ体操を試みた上四時歸んとしたのを密行中の平署員に檢擧され今八日强姦未遂家宅侵入として告發された

幼い兄弟五名が
パラチフスに罹る
飯野の戸口調査で發見

飯野村大字中山字藥谷三八農矢吹朝之助長女小學校六年生トシノ（一三）長男三年生菊治（一〇）二女一年生シズエ（八）次男朝雄（四）三女サクヨ（三）の五名が何れも病床にあるのを戸口調査中の志田駐在巡査が發見平町酒井醫師の診斷を求めた處何れもパラチフスと判明、直に隔離し大消毒を行ひ目下傳染系統を調査中である

牧野子來郡
波立藥師史蹟調査

中央書院に活躍しつつある藥笠間滯主子爵牧野康强氏は來十二日來郡四倉町石島德長氏方に一週間滯在し波立藥師の史料を蒐集する事となつたが滯在中揮毫の需に應ずると

一通學出來るやう
勿來校の炭鑛關係
對策協議父兄懇話會

勿來小學校生徒中町村の人出が少く合計下り四百名上り九百名だつたので今年は十五日だけに止めたわけであると

安んじて
勿來校生徒

臨時列車
舊十五日夜運轉

平驛では舊盆中踊り見物歸りで上下旅客の雜踏を見越し舊十五日十二時頃の臨時列車を發する事となつた、因に昨年は十五、六の兩日運轉したるも十六日は附近の人出發龍門寺に於て一時から

小川郷團体
けふ四倉濱へ

小川郷小學生二百五十名附き添ひ三百名計五百五十名は今八日の丑の日に午前八時二十二分の臨時列車で四倉に清遊した

一二の丑閑散
臨時列車客百餘

平驛昨七日の濱行き臨時列車は約七百五十名の乗客で頗る雜踏を呈したが今八日の第二丑は百餘名に過ぎなかつたと

押入に隱れて
憧れの女を待つ
物騒な鎌田のエロ犯人

平町鎌田町無職吉田勝雄（二五）は月見町果實店井戸川安信妻トクエ（三一）に横戀慕し去月二十八日三十日の二回に亘り家内の様子を窺つて戸締り嚴重の爲目的を遂せず猶も執拗に追ひ廻したが戸締り嚴重の爲目的を遂せず猶も執拗に追ひ廻した結果夫が商用で上京し不在中なのを嗅ぎ知り昨七日午後八時頃トクエが買物に出た留守中錠を捻じ切つて押入れに忍び込み九時頃歸宅して就寢したのを見澄し用意の西洋剃刀で脅迫して目的を達せんとしたが泥棒と騒がれて狼狽し逃げ出さんとしたのを密行中の平署員に檢擧され今八日强姦未遂家宅侵入として告發された

團体其の他
一萬人突破
昨日曜の四倉濱

四倉海水浴場昨日曜の人出は郡山驛主催及福島市團体各三百名其他約一萬人を突破し町役場、男女青年團、消防組員の接待、四倉藝妓組合の小唄、音頭の手踊り非常な賑ひであつた

千金の慈雨に
農作物蘇る
坪當り一斗七升餘

郡下山間部農村は連日の炎天に水不足を生じ降雨を祈つてゐた矢先昨七日夜の豪雨は短時間であつたが坪當り降雨量九ミリ四一八（一斗七升二合三勺九四）で農作物も蘇生の色あり農家は一少康を得た形ちである

顔の吹き物を苦に
見習看護婦自殺
モルヒネを多量に嚥下

勿來更員清遊　六日午後一時より松川磯で試みたが盛會であつた

四倉ジャンプ
現在四倉海岸に生活中のものは郡山、安積中學生徒等の外八組であると

吉村鑛業〰山田村吉村炭所落成式〰鑛では既報の如く鐵筋コンクリート事務所新築中の處此程竣功したので去三十、三十一、一日の三日間に亘り起業一週年記念を兼ね盛大なる落成式を擧行し一般の餘興もあつて殷賑を呈した

。。。